

Japan Cloud Services (Japanese Version)

AN IDC SPECIAL INTELLIGENCE SERVICE

国内クラウド市場は普及期を迎え、多くの企業がクラウドファースト戦略を有しています。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大は、企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）に対する関心を高め、クラウドの利用／導入目的も、IT／業務の効率化から、DX／データ駆動型ビジネスへと拡大しています。すでに、ほとんどのベンダーがクラウドを中核事業として、データの活用やクラウドネイティブ技術などの価値をユーザー企業に訴求しています。また、企業のDXを支援するために、自社の製品／サービスを発展させると共に、エコシステムの強化を図っています。IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan Cloud Services (Japanese Version)」では、年間を通じて国内クラウド市場の調査、分析を行います。本サービスではクラウドをサービスモデルや配備モデルに区分して市場調査を実施し、クラウド市場において成功するための情報を提供いたします。2022年は、企業のクラウドジャーニー戦略とエコシステムの分析を強化し、IT サプライヤーに対する提言を行います。

Markets and Subjects Analyzed

- サービスモデル別市場規模および予測（アプリケーション、プラットフォーム、インフラストラクチャ）
- エンドユーザー調査
- ベンダーの競合分析
- 配備モデル別市場規模および予測（パブリッククラウド、コミュニティクラウドを含むプライベートクラウド）
- クラウドやDXがIT市場に与える影響の調査

Core Research

- 国内パブリッククラウド市場予測
- 国内プライベートクラウド市場予測
- 国内クラウド市場：用途別市場予測
- 国内クラウド市場：需要動向調査
- 国内クラウド市場：ベンダーのビジネス動向分析
- IDC FutureScape: Worldwide Cloud 2022 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。： [Japan Cloud Services \(Japanese Version\)](#).

Key Questions Answered

- クラウドベンダーにとってのビジネス機会はどこにあるのか？
- クラウド事業を成功に導く要素は何か？
- ユーザーニーズや投資動向の変化にクラウドベンダーはどのように対応すべきか？
- どのようなサービスセグメントやビジネスモデルが最も高い成長を遂げるのか？
- 技術の発展やユーザーの利活用の変化が、クラウドに与える影響は？
- リーディングベンダーはどのような戦略でビジネスの拡大を図っているのか？

Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較／分析を行います（アルファベット順、50音順）。

AWS、IBM、KDDI、NEC、NTT グループ、SAP、TIS、アクセントゥア、伊藤忠テクノソリューションズ、VIE ユーウェア、オラクル、

グーグル、シスコシステムズ、セールスフォース・ドットコム、ソフトバンク、日立製作所、富士通、マイクロソフト、その他